
白川町・ピストイア市交流 40周年記念
& 白川町芸術文化祭コンサート
 ～ イタリアからの風 ～



文化
しらかわ

No. 59

■白川町文化協会
 令和7年3月1日発行
 ■事務局
 白川町教育委員会
 生涯学習係
 TEL 72-2317

「イタリアからの風」コンサートで
 ヴェルディ「乾杯の歌」を歌って

白川中学校長 太田 紀宏

今回、ソプラノ歌手野尻育代さんとヴェルディの乾杯の歌を歌わせていただくという大変貴重な、夢のような体験をさせていただきました。このような機会に恵まれたことにただただ感謝です。たまたまお会いした野尻泉さんに声をかけていただけたことが今回の挑戦に繋がりました。私は大学時代にグリーククラブという男声合唱に出会い、音楽、合唱の魅力に引き込まれ、卒業後も合唱団に所属し活動を行っています。合唱人として、教員として、今後も音楽のすばらしさ、音楽のもつ力の大きさを子どもたちに伝えていければと思っています。私の所属する京都に拠点をおく「男声合唱団アルシエ」も、コロナ前に町民会館グロリアホールで何度か演奏をさせていただいています。令和7年11月31日には、京都コンサートホールにおいて第11回定期演奏会を予定しております。京都観光も兼ねてぜひお越しください。お待ちしております。

第13回 佐見歌舞伎大公演



第13回 佐見歌舞伎大公演を終えて

今井 悟

昨年12月8日に第13回目となる佐見歌舞伎公演が5年ぶりに旧佐見小学校体育館で行われました。令和元年に第12回を開催してから5年もの間が空いてしまいましたが、元々佐見歌舞伎は隔年という事と、コロナ禍が続けて来てしまった事で空けざるを得ない状況となっていました。その間に様々な事がありましたが一歩痛かったのは、師匠の引退です。やはり指導者は大切だと感じました。今回の2外題は白雲座さんをお願いして指導して頂きました。経験のある外題ばかりだったので、思い出しながら何とかやり切る事が出来ましたが、次回からは更に大変になると感じました。

今までは佐見小学校（旧佐見中学校）の体育館で開催していた公演ですが、町の協力により、旧佐見小学校の体育館を改装し、立派な歌舞伎小屋が出来ました。と同時に体育館トイレも新しくなり、大変有難く感謝しております。

さて、これからが本当に変となる佐見歌舞伎ですが、佐見地区だけでなく他地区他町村にも幅を広げる様な活動をしなくてはと考えています。次回の公演は未だ明確には決まっておりますが、今後も佐見歌舞伎をよろしくお願い致します。

「みんなで協力し継続を！」

カラオケ部会理事

神間 昭文

白川歌謡クラブは西野紀巳男さんが長年に渡り役を務められ、その頃は大利の喫茶七曲店をお借りして、雑談を交えながら歌を歌って楽しんでおりました。その頃は、男性19名女性14名の計33名の会でした。コロナ感染が流行り始め長く中止をせざるを得なくなり、次第に歌から遠ざかり、他界されたりでこの会も人数が減ってしまいました。そして借りている喫茶七曲店にも集まらなくなり、西野さんの身体も弱く会員を辞められ、45年前から「私達しばらく歌っていないから辞めます」の声が多くなり、最後に残ったのは私と長尾千尋さん、池戸正則さんの3名だけとなりました。同じ町内の歌好きといっても、町内には人口6,940人いるだけで、その歌好きの人はおりません。今回の第47回芸能発表会もカラオケ部会からは3名だけで終わりました。どうしても他町村の人に出演を頼むより仕方ありません。町民会館グロリアホールでの音響は、大変良く3名共満足していました。出演をカラオケ部会だけでなく、他のクラブからも出演者を募って楽しいも永く続く芸能発表会にしたいものです。

「全員で力を合わせた

エイサー踊り」

エイサーアクトノームズ

令和4年の第45回芸能発表会に出演して以来コロナ禍もあり、久しぶりに再開した練習後、初めての舞台が町民会館という大きな会場で、しかも緊張と多少のトラブルで満足できた内容では無いものの全員で力を合わせ、大太鼓に挑戦する新しい演目も披露出来て、良い思い出となりました。

我々のクラブは、運動不足解消も兼ねて、毎週金曜日の夜に蘇原ふれあいセンターで練習しています。時には休憩中のおしゃべりの方が長くなってしまうですが、大小の太鼓でのエイサーと、笑いも取れるダンス等、面白いとコミュニケーションを交えながら汗をかくております。平均年齢の若返りも視野に入れ、メンバー募集中です(笑)只今冬眠中ですが興味のある方、春には是非ご見学願います。

「笑顔と元気を届ける

チアダンスの力」

チアダンス代表

渡辺 靖代

「笑顔と元気、勇気、そして感動」をモットーに、これまで140人の子どもたちを指導してきました。

チアダンスを始めたきっかけは、他町のイベントで5歳児が可愛い衣装でポンポンを持って踊っているのを見たことです。白川町でもこのようなダンスを踊る子どもたちがいれば地域のイベントがもっと盛り上がると感じ、指導を始めました。2007年からスタートし、毎年町内の様々な地域の方々に声をかけていただきオープニングなどでダンスを披露してきました。特にグロリアホールでの発表は、子どもたちにとって大きなステージで踊る喜びを感じる瞬間です。これからも白川町の芸能人として、「地域に元気、笑顔、勇気、感動」を届け続けます。



ご縁を大切に

東白川村文化協会 会長 荻田 喜美子

先日白川町文化協会様より交流事業の一環として、白川町芸能発表会にご招待いただきました。

大正琴やコーラスはもちろん、チアダンスやカラオケ、手品、落語など目新しいステージで、目も耳も楽しませて頂きました。

東白川村の芸能発表会は大正琴、フラダンス、太鼓、コーラス、中学生の吹奏楽で構成しています。コロナ禍後は以前に比べサークル数も減り、中学生全員の合唱もプログラムに組み込んで行いますがそれでも半日だけの開催となっています。

双方の芸能発表会共、会員様の年に一度の発表会として大事なステージとなっていますが、観覧してくださる方がとても少なく残念な気持ちでいっぱいです。どう興味を持って頂いて足を運んで頂くかが課題なのかなと感じました。

私は大正琴を習っています。指導は白川町の熊崎先生です。これもご縁ですね。

こうしたご縁を大切に、両文化協会の継続とますますの発展を願っています。



他町村との交流を深めて

白川町文化協会 会長 中島 正平

文化協会の発展と他地区との交流を図るため御嵩町文化協会と交流をもち、お互いに芸能発表会では双方から出演するなど深い交流を進めてきましたがその後、コロナウィルス感染拡大のため御嵩町も我々もほとんどの事業を実施することが出来なくなりました。

そうした状況が続く中、東白川村文化協会との接点を持つことができました。

令和6年度には新たに東白川村文化協会との交流が始まりました。私達の芸能発表会には東白川村文化協会の荻田会長さんと事務局の方にご来場をいただき私達の活動を見てもらいました。その後、開催されました東白川村産業文化祭では私達役員5名が参加し東白川村文化協会の活動を拝見しました。

当日は産業祭を兼ねての芸能発表会があり最後まで楽しく観させていただきました。

これからも御嵩町や東白川村との文化交流会が活発に進むことを願っております。

「たんぽぽ」は結成以来、もうすぐ、40周年を迎えようとしています。

40周年は、令和8年となりますが、その前に団員の減少と、寄る年波には勝てないこともあり「ちょっと前コンサート」を計画しました。これからも歌い続けていきたいと思うますので、ご声援下さい。また団員も募集しています。一緒に歌いませんか。

「白川女声コーラスたんぽぽ 40周年ちょっと前コンサート」

♪日時 / 令和7年5月25日(日) ♪会場 / 町民会館グロリアホール

みなさん聞きに來てください。

白川女声コーラス たんぽぽ団員一同

令和7年

白川町新春文芸

大会入賞作品

町内外の文芸愛好家の皆様から、作品応募をいただき、令和7年新春文芸大会を紙上にて開催いたしました。今回は、小中学生の皆さんにも参加していただき、学童の部として選考評価いたしました。一般応募作品数は、短歌四十首・俳句七十句・漫俳三十八句。学童の皆さんからは、俳句八十二句・漫俳は百二十六句でした。ご応募の皆様には、心より感謝申し上げます。

【短歌の部】

1位 (三川本郷) 今井多美子
「楽しんでおいで」と言いし亡き夫を思い起こせり子等と旅して

2位 (大 利) 太田 米子
ふるほけた十九の吾の写真あり夫の遺品の財布の中に

3位 (油 井) 安江 里子
紅葉を映すダム湖に鴨の列過ぎ去るまでと暫し見守る

4位 (可児市) 北村 一子
「きれいだね」庭を見詰める母の言ふ明日は施設に戻ると言ふ日

5位 (日面下) 田口 政子
雪道を一步一步と踏みしめて杖を頼りの宮参りせり

6位 (大 寺) 瀬瀬 具幸
オリオン星の名問いし人は逝きベテルギウスの赤き揺らめき

7位 (東白川村) 稲垣八穂子
お母ちゃんによく似てるんだようちの孫三年祭の遺影に語る

【俳句の部】

1位 (中之平) 有田佐和子
寒の雨円空仏は皆笑顔

2位 (瑞穂市) 勝 千紘
口角を上げて紅差す初鏡

3位 (油 井) 安江 里子
釣銭を貰う朝市悴みて

4位 (中新田) 藤井 早苗
日の目見る年に一度の雑煮碗

5位 (小 畑) 藤井 則子
梵鐘の川越え聞こゆ早三日

6位 (三川本郷) 山本 榮子
百歳の母耳紅きお屠蘇かな

7位 (薄 野) 松浦なつ子
火事あとの風黒しとも重しとも

8位 (大 寺) 安江たづ子
旧校や賑わい久しどんど焼き

【漫俳の部】 題「味」又は「手」

1位 (大 利) 汲田 昭子
手を引いて守した孫におんぶされ

2位 (薄 野) 松浦なつ子
手土産の要らぬあの世や夫が待つ

3位 (両 神) 中島 正平
手招きしひと間違えの間の悪さ

4位 (下呂市) 江馬 明美
母に似た味付けだよと夫の云ふ

5位 (日 向) 鈴村 政子
味しめて調子いい事言つてみる

6位 (油 井) 安江 里子
奥の手を使い古してへボ将棋

7位 (広 島) 田口 芳恵
晩年の手相は吉や万万歳

【学童の部】 俳句

1位 (黒川小学校) 新井環仁郎
ぼたん雪口あけながらとびはねる

2位 (白川中学校) 安江 香穂
雪山や大きなおもちできあがり

3位 (白川中学校) 田島 希美
大そうじやると言いつつスマホ見る

4位 (白川中学校) ゆきみだいふく
中学生来てくれるかな？サントさん

5位 (黒川小学校) 藤井優依花
雪虫のにぎわいみせる道路ざわ

6位 (白川中学校) 服部すびあ
だんろの火パチパチはねておどつて

7位 (黒川小学校) 安江 柚菜
初桜散るな散るな風吹く

8位 (白川中学校) 水野 希海
笑い声部活帰りの冬の月

9位 (白川中学校) よしたく
朝早くふと気がつくと思白し

10位 (黒川小学校) 大脇茶太郎
夏の夜川にホタルがピカピカと

【学童の部】 漫俳

1位 (黒川中学校) 小池 耀月
父の味分量でも五つ星

2位 (黒川小学校) 藤井 蒼
人の手で作る物こそ味がある

3位 (黒川中学校) 竹川明日佳
手袋が旅に出ていて帰らない

4位 (黒川小学校) 安江 慶司
サッカーで手にあせにぎるぼくたちは

5位 (黒川小学校) 榎間 心桜
あやとりで六だんばしごできるかな

6位 (黒川中学校) 塩月 櫻子
三が日うまいおせちに手が伸びる

7位 (黒川小学校) 小池 星空
いつまでも変わらぬおいしい母の味

8位 (黒川小学校) 中山 滋博
授業中勇気を出して手をあげた

9位 (黒川中学校) 鈴村彌磨登
手をつなぎ冷えた指先温まる

10位 (黒川小学校) 藤井 星桃
手をふってまた会おうねさようなら

「清流の国ぎふ文化祭 2024」

白川町コミュニケーター 西野 健 二

清流の国ぎふ文化祭では、「ちーオシ」活動が県民運動として実施されました。

ちーオシとは県内各市町村が地域の推しを選定し、竹と和紙でオブジェを製作する活動です。白川町では500件以上の意見が集まり、町民の皆さんの白川町への想いを感じ嬉しくなりました。

その中から「水戸野のシダレザクラ」「パイプオルガン」

「白川橋」「白川の人の気にかけてくれる近さと優しさ」4つのちーオシが選定され、オブジェ製作がスタートしました。計3回製作を行い、延べ50名が関わって下さいました。皆様の協力に感謝いたします。このオブジェは文化祭の開会式会場で天皇皇后両陛下をはじめ多くの方にご覧いただけました。この活動を通して文化に触れ、地域の良さ



を考えるきっかけになったこと、町民の皆さんにご協力いただき活動が出来たことはとてもいい経験となりました。

白川町は魅力ある町です。魅力に気付いて推していくことで、より良い町にできると思います。文化祭は終わりましたが、これからも白川町の「ちーオシ」活動を続けていきます。

清流の国ぎふ地歌舞伎・伝統芸能

フェスティバル地歌舞伎公演

東座歌舞伎保存会 会長 安江 充

2024年9月23日の清流の国ぎふ地歌舞伎・伝統芸能フェスティバル地歌舞伎公演に出演しました。この公演は「清流の国ぎふ文化祭」の開幕にさきがけ、行われたものです。

東座歌舞伎保存会の出し物は、「良辨杉（ろうべんすぎ）の由来 二月堂の場」で、大人に交じり小学生

2人、中学生2人も出演し、総勢13人で演じました。東大寺の名僧良辨僧正（ろうべんそうじょう）は、2歳のときに驚にさらわれ、春日大社の杉の木に置かれていたのを東大寺貫主の義淵僧正（ぎんねんそうじょう）に救われて名僧になり、一方、母は30年もの間わが子を探して気が狂ったように西国巡礼の旅。そしてわが子に対面。母はわが子の立身出世に驚き、子は母の苦勞をいたわり、涙ながらに無事対するという物語。泥臭く田舎じみた老婆を

今は高僧となった子が、身分差を越えて対面、母としていたわる姿が会場の皆さんの共感を呼びました。

大勢の歌舞伎愛好者の前で演技を披露出来たことは大きな喜びとなりました。

白川町と東座のアピールが出来たのではないかと思います。



令和6年度
事業報告

令和6年度に行われた事業について紹介します

【総合事業】

○第62回文芸大会

10月紙上大会

作品応募数

短歌 17名 34首

俳句 34名 68句

漫俳 20名 90句

○新春文芸大会（紙上大会）

1月開催

小中学生参加 138名

*内容は「文芸ひろば5頁」をご覧ください。

○第47回芸能発表会

10月19日 町民会館

15演題

お茶席同時開設

○ふるさとふれあい展への参加

11月3日～5日 町民会館

お花・絵画等の作品を出展

【部会活動事業】

○書画部会

ふるさとふれあい展へ出展

楽集館ミニギャラリーで展示

公民館まつりへ出展

○芸能部会

黒川東座ふれあい公演

5月19日 東座

佐見歌舞伎

12月8日 旧佐見小体育館

「清流の国ぎふ」文化祭2024

9月23日 東座歌舞伎保存会

10月26日

佐見歌舞伎実行委員会

黒中文化祭歌舞伎指導

9月10月 9回

10月25日 発表

黒小歌舞伎教室 2回

佐見小歌舞伎指導 6回

○文芸部会

中日短歌会に参加

9月22日（可児市で開催）

漫俳句集発行

黒川小学校漫俳指導

（5・6年生）

全国・県俳協に投句

岡本一平句碑清掃

○カラオケ民謡部会

芸能発表会に参加

○茶華道部会

芸能発表会でのお茶席開設

伝統文化親子教室の開催

岐阜支部勉強会に参加

犬山成田山で茶会

名古屋池坊展見学

○コーラス部会

芸能発表会に参加

パイプオルガンと歌おうに参加

県・中濃合唱祭に参加

東白川村産業文化祭に参加

○器楽部会

芸能発表会に参加

中京・県大会に参加

東海市・各務原市にて

「清流の国ぎふ」文化祭2024

へ参加 10月20日

中津川市・加子母文化祭に参加

パイプオルガンと歌おうに参加

日本大正村・金山農業祭に参加

【共催事業】

○白川町芸術文化祭

コンサート 7月7日

イタリヤからの風

「フルート・ピアノ・ギター三重奏」

【広報事業】

○広報誌「文化しらかわ」の発行（3月）

【交流事業】

○東白川村と文化交流

11月17日

文化展・芸能発表会を観覧

【その他】

○年間を通じ福祉施設等との交流

○年間を通じ福祉施設等との交流

***** < 部会とサークル紹介 > 19サークル 229名 *****

サークル名	地区名	代表者名	会員数	サークル名	地区名	代表者名	会員数
○文芸部会				○茶華道部会			
はざま句会	黒川	藤井 則子	8	茶道裏千家和心会	白川	杉山 朋子	8
飛水俳句会	広域	今井 茂喜	18	知翠会（華道）	広域	鈴木 絹子	5
木の芽会	佐見	安江 和弘	14	○コーラス部会			
漫俳句会	広域	安瀬 具幸	30	白川女声コーラスたんぽぽ	広域	大岩 いつ子	23
白川短歌会	広域	太田 米子	16	白川女声合唱団・爽々	広域	桂川 のぞみ	10
○書画部会				○器楽部会			
書画部会	広域	渡邊 徳雄	3	琴友志会	広域	安江 恵子	5
○芸能部会				なでしこ会	広域	土屋 美保子	7
東座歌舞伎保存会	黒川	安江 充	35	美濃白川鼻笛クラブ	広域	林 由美子	8
佐見歌舞伎	佐見	今井 悟	30	マジッククラブ	白川	大岩 敏廣	3
○カラオケ民謡部会				白川ハーモニカクラブ	白川	新田 則和	1
しらかわ歌謡クラブ	広域	榎 間 昭文	4	アルテミーノ音楽教室	黒川	伊藤 実知子	1

白川町芸術文化祭2025

さ・ま〜 kajii

夏だ! サマーだ! ファミリーコンサート



舞台いっぱいの楽器から生まれる特別なハーモニー。

テーマは「日用品楽器とクラシック楽器の融合」。

マリンバ&日用品楽器&ピアノのユニット「さ・ま〜 kajii」!

日時／2025年8月3日(日)

午後1時30分開演(1時開場)

会場／白川町町民会館

グロリアホール 入場無料

岐阜県加茂郡白川町河岐1645-1



編集後記

「文化しらかわ」は今回で59号目の発行となる。半世紀を超える長い歴史があり伝統がある。編集に当たり毎年、諸先輩方が築いてきた「文化しらかわ」を以前に負けないようにと思いつながりながらも中々、思ったようにはいかない。近年は会員数の減少が顕著になってきている。あれだけ多数の会員がいた民謡部会は皆無になってしまった。その活動を掲載できないことは残念である。踊る文化の火を消さないで、出来る範囲で活動再開を願う。

7月に「白川町芸術文化祭2024」のコンサートを後援して開催。当日出演された太田紀宏氏に寄稿して戴いた。

10月に「白川町芸能発表会」を開催し、出演した方からの記事も掲載している。また、今回は文化協会交流として観覧に来られた東白川村文化協会の会長にも寄稿して戴いた。

例年のように掲載した白川町新春文芸大会入賞作品は味わい深い。「文化しらかわ59号」がこうして発刊できたことは、関係者各位のご協力の賜と感謝の一言である。

最後に、白川町文化協会に對しましてさらなるご指導、ご協力をお願い申し上げます。(安江)

(文化しらかわ編集委員)

安江 充・中島 正平
野尻 泉・大岩 敏廣
瀬崎 裕子・山下 直紀
今井 悠稀